



アルパ奏者

成海 桜 (なるみ・さくら)

Sakura NARUMI

平成20年 横須賀大津高等学校卒業

横須賀市出身。幼少の頃よりピアノを習う。高校生のかきにアルパ（パラグアイ・ハープ）に出会い、18歳の頃からエンリケ・カレーラ、松木ありさのもとで指導を受ける。

これまでに二度、アルパの本場パラグアイへ渡り、現地の著名なアルパ奏者に師事する。

第12回大阪国際音楽コンクール民族楽器部門アブニール賞受賞、第17回“万里の長城杯”国際音楽コンクール弦楽器部門第4位入賞、第10回全日本アルパコンクールファイナリスト。フェリス女学院大学音楽学部音楽芸術学科卒業。

2012年、左手に局所性ジストニアを発症。リハビリと治療を続けながら、精力的に演奏活動をおこなう。

伴奏：ギター（アルパ奏者）

エンリケ・カレーラ

Enripue CARRERA

パラグアイ、首都アスンシオン生まれ。

10歳よりアルパを始める。現地で数々のアルパコンクールで入賞し、テレビや大統領官邸での演奏を行う。

2006年来日。演奏活動だけでなく、アルパ教室“ソンリーサ”を主宰し、後進の育成にも努めている。

アルパ（パラグアイ・ハープ）

アルパとはスペイン語で“ハープ”という意味です。大航海時代、スペイン人によってキリスト教など様々なヨーロッパの文化とともに南アメリカ大陸に伝えられた西洋のハープが、南米各国で独自の発展を遂げて、現在のかたちとなりました。なかでもパラグアイのアルパは、音楽的にも楽器としても優れた発展を遂げ、パラグアイの国民的楽器として人々に愛されています。

